

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				令和元年度				中期(～R元年度)における総括		備考	担当課			
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性			成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	
			～29年度	～31年度	～35年度																	
①協働による防犯対策の推進	1. 警察・地域住民(団体)と協働で行う、防犯パトロールの継続と充実 2. 地域住民(団体・学校)と連携したあいさつ運動の啓発・推進「安全で安心なまちづくり」	小中高校生の健全育成及び地域の安全確保(町内犯罪0を目指す) 【防犯・交通安全対策の充実】	○効果的実施の検討	○効果的に継続実施	○継続実施し、安全で安心に暮らせるまち「河原町」の構築	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報を共有した。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施した。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施した。	○事業を継続して実施する。 ○専門機関との連携について検討する。				達成	継続	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報交換した。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施した。(「スマホ世代の子育て」平成30年9月21日開催) ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施した。				達成	継続	○青少年育成協議会、園長校長会などで少年犯罪の発生状況、傾向などについて情報を共有した。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施した。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施した。	○事業を継続実施する。 ○専門機関との連携について検討する。 ○元年に県外で通り魔による児童殺傷事件が発生していることから、智頭警察署と連携したパトロールなどの活動を行う。		河原町総合支所
			○応募数増に向けた取り組み検討(周知徹底ほか)	○応募者増に向けた取り組み実施	○応募者の増 ○「風土づくり」と「防犯意識の向上」を地域と行政による協働の取り組みで図る	○新たに河原幼稚園及び各小中学校の保護者へ呼びかけた結果、応募者数が増えた。 ○優秀な作品6点を看板にして、各園、小、中学校、支所に掲示するとともに最優秀を受賞した生徒・児童に記念品と表彰状を送り機運を高めた。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行った。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を市民と行政が協働で実施した。	○事業を継続して実施する。	65	26	達成	継続	○あいさつ標語の募集をし、看板を作製、設置した。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行った。 ○交通安全の呼びかけに併せ、あいさつ運動を各学校、PTAなど市民と行政が協働で実施した。(10月15日～10月21日)	53	40	達成	継続	○防犯定規を小学生への賞品とし、小学生全員から応募があった。 ○標語に親子で取り組むことにより、保護者からも多数応募をいただいた。 ○幼稚園児、小中学生、一般のあいさつ標語優秀作品6点を看板にし、地域に設置した。 ○智頭警察署管内防犯協議会で情報共有、意見交換を行った。 ○交通安全の呼びかけと併せて市民と行政協働であいさつ運動を実施した(10月) ○JR駅での高校生マナーアップさわやか運動に参加した。	○関係機関、団体との連携により、地域全体での継続した取り組みを進めていく。		河原町総合支所		

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				令和元年度				中期(～R元年度)における総括		備考	担当課		
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性			成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性
			～29年度	～31年度	～35年度																
②農業の振興と有害鳥獣対策の推進	1. 専業農家、農産物加工グループ、高齢化農家の支援と所得向上 2. 有害鳥獣被害防止支援と獣肉のジビエ活用推進	【これからの河原地域の農業振興の在り方等】について当事者の生きた意見等を把握し、今後の施策に反映する。(H27年度変更) 【農林水産業の振興】	○専業農家、認定農業者、新規就農者、農業関係団体等による『意見交換会』を実施する(H27年度変更)	○専業農家に対して、国県市等の支援策を関係機関と連携して情報提供を行う。	○専業農家に対して、国県市等の支援策を関係機関と連携して情報提供を行う。	○【これらの河原地域の農業振興の在り方等】について当事者の生きた意見等を把握するため河原地域の農業振興に係る意見交換会を実施し、新規就農者へのアドバイスなど意見交換や情報共有を行った。	○事業を継続して実施する。	○平成31年2月7日鳥取市南地域新規就農者等交流会を開催した。(31名の参加)河原地域の農場2ヶ所を視察した後、経営の課題等について意見交換を行い、用瀬、佐治地域を含めた南部地域の新規就農者等の交流が図られた。	-	-	達成	継続	○専業農家に対して、国県市等の支援策を関係機関と連携して情報提供を行った。	-	-	達成	継続	○【これらの河原地域の農業振興の在り方等】について当事者の生きた意見等を把握するため河原地域の農業振興に係る意見交換会を実施し、新規就農者へのアドバイスなど意見交換や情報共有を行った。	○事業を継続して実施する。		河原町総合支所
		専業農家の生産コストの縮減とブランド販売を目的とした販路の拡大 【農林水産業の振興】	○個人、農事組合等に対して『法人化』への積極的なPR・促進計画策定 ○JA、県普及所等と連携して法人化出前説明会の実施	○集落営農等法人設立 ○現存農業法人等の規模拡大促進	○集落営農等法人設立促進 ○現存農業法人等の規模拡大	○『法人化』へのPRとして、各集落の実行組合長に対して、『人・農地プラン、法人化』の事業を紹介するチラシを配布したが促進計画は策定できなかった。 ○法人化出前説明会を14集落で行った。	○法人化された団体の組織化後に対する情報共有ができていないため課題問題の把握不足である。 ○新規団体や法人化を検討している団体との情報交換が不足している。	○一般社団法人八上が行う農活促進、集荷場運営、地域活性化等各種事業の情報収集を行い支援のあり方を検討した。 ○菓業、健康食品などを製造販売する民間事業者町内農事法人組織とのビジネスマッチングを試みた。	-	-	達成	継続	○既存農事組合法人への規模拡大に係る支援を行った。 ○新規法人化を検討している組織・集落への情報提供を行った。	-	-	達成	継続	○『法人化』へのPRとして、『人・農地プラン、法人化』の事業を紹介するチラシを配布した。 ○法人化出前説明会を14集落で行った。	○法人化された団体の組織化後に対する課題等を把握し情報共有を行う。 ○新規団体や法人化を検討している団体との情報交換を行う。		農政企画課 河原町総合支所
		①農産物加工グループ(地元任意団体)の商品販売額(販売量)の向上 ②河原町特産品販売の拡大 【農林水産業の振興】	○農産物加工グループの洗い出しとカルテ作成 ○現存する加工品の診断及び改良 ○『とっとり旨味工房かわはら』の活動支援と活性化	○新たな農産物加工品の創出・テスト販売 ○既存加工品のグレートアップと市場化・消費者テストの実施	○農産物加工品等の販売増	○農産物加工グループ等の商品抽出と商品診断を実施した。 ○『とっとり旨味工房かわはら』の活動を支援した。 ○農産物加工グループの小河内マドンナ隊が新商品の開発、流通、販路拡大を図り、「満月かきもち」「やわらか姫もち」を商品化し、各道の駅、東京のアンテナショップほか様々な販売戦略に取組んだ。 ○鳥取市農産物販路拡大支援事業により東京、大阪、神戸などでの販売活動を行う経費の助成を行った。	○中央ファーム、西郷地区特産物をつくる会、河原城風土資産研究会、マドンナ隊、アトラス等農産物加工グループとの情報交換が不足しており、現状が把握できていない。	○加工グループの現状把握に努め、研修会、県外県内でのPR活動に対する支援を行った。	-	-	達成	継続	○加工グループの現状把握に努め、研修会、県外県内でのPR活動に対する支援等を行った。	-	-	達成	継続	○加工グループの現状把握に努め、研修会、県外県内でのPR活動に対する支援等を行った。	○農産物加工グループとの現状把握と情報交換を引き続き実施する。		農政企画課 河原町総合支所
		有害鳥獣被害防止対策の推進と獣肉解体施設稼働率向上及び解体獣肉の販売量の増 【農林水産業の振興】	○侵入防止柵等の整備で効果的な設置方法の検討と実証 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上 ○解体施設設備の改良・増設の助言並びに支援 ○施設管理者と利用者のマニュアル充実	○侵入防止柵等の効果的な設置方法(モデル)確立 ○狩猟捕獲従事者に対する新たな支援強化 ○ジビエ料理の定着と普及推進のため、モデル的な取り組み実施	○被害対策として、毎年各集落に呼掛け、延べ51団体に電気柵等の設置事業に対して助成した。 ○鳥取市鳥獣対策協議会に「新規狩猟捕獲者の創出対策等」について要請した。 ○北村解体施設については、地元・ししぼたんの会と施設の稼働率向上等について意見交換を実施し、施設の一部改良(井戸新設等)を実施した。	○事業を継続して実施する。 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上を図る。 ○北村解体施設の施設管理者と利用者のマニュアルを充実する。	○各集落に呼掛け電気柵等の設置事業に対して助成を行った。 ○獣肉対策を地域ぐるみで行うための研修会に地元とともに参加した。	○各集落に呼掛け電気柵等の設置事業に対して助成した。 ○地域で取り組む獣肉対策体制づくりを構築するため積極的に講習会等に参加し、情報共有、連携を図った。	1,970	1,461	達成	継続	○各集落に呼掛け電気柵等の設置事業に対して助成を行った。 ○獣肉対策を地域ぐるみで行うための研修会に地元とともに参加した。	907	906	達成	継続	○各集落に呼掛け電気柵等の設置事業に対して助成を行った。 ○獣肉対策を地域ぐるみで行うための研修会に地元とともに参加した。	○事業を継続して実施する。 ○新規狩猟捕獲者創出と狩猟捕獲従事者のスキル向上を図る。 ○北村解体施設の施設管理者と利用者のマニュアルを充実する。		農政企画課 河原町総合支所

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				令和元年度				中期(～R元年度)における総括		備考	担当課		
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性			成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性
			～29年度	～31年度	～35年度																
③企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)	工業団地の確実な整備と企業誘致また空き家活用によるUJiターンの増のほか宅地造成分譲による若者の定住促進	河原インター山手工業団地への企業誘致及び既設工業団地の拡張整備による企業誘致 【工業の振興】	河原インター山手工業団地の整備完了と企業への分譲 ○既存工業団地拡張整備の着手と完成地からの分譲開始	河原インター山手工業団地の企業への分譲促進 ○既存工業団地拡張整備推進と完成地からの分譲開始	河原インター山手工業団地分譲完了 ○既存工業団地拡張整備分譲完了	河原インター山手工業団地 【整備状況】 ・平成30年3月完成予定。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約1.9ha(約32%)は分譲済、約1.2haは分譲予約済。 ○布袋工業団地 【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	○それぞれの工業団地への分譲を進める。	河原インター山手工業団地 【整備状況】 ・平成30年3月完成。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約3.2ha(約52%)は分譲済、約2.9haは分譲予約済。 ・(株)城洋 (H30.3.28調印) ○布袋工業団地 【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	-	-	達成	継続	河原インター山手工業団地は整備を完了し、概ね企業への分譲の目的が立った。 【整備状況】 ・平成30年3月完成。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約4.0ha(約66%)は分譲済、約2.1haは分譲予約済。 ○布袋工業団地の拡張整備を推進し、完成地の一部を分譲した。 【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	-	-	達成	継続	河原インター山手工業団地は整備を完了し、概ね企業への分譲の目的が立った。 【整備状況】 ・平成30年3月完成。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約4.0ha(約66%)は分譲済、約2.1haは分譲予約済。 ○布袋工業団地の拡張整備を推進し、完成地の一部を分譲した。 【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	○それぞれの工業団地への分譲を進める。	企業立地・支援課 河原町総合支所	
		河原町へのUJiターンの増(町外からの移住者) 【ふるさと・いなか帰郷の促進】	河原町へのUJiターンの増に向けた検討 ○空き家情報等収集	河原町へのUJiターンの増への取り組み強化	河原町へのUJiターンの増	河原町神馬の空き家を借り上げ、(一社)西郷工芸の郷あまじやくに移住定住空き家運営業務を委託しお試し住宅を開設、西郷地区へのUJiターンの受け入れ体制を強化した。	○事業を継続して実施する。	○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが行う、お試し定住体験事業(神馬)、移住定住空き家運営業務(西郷地区へのUJiターンの受け入れ)を支援した。	860	496	達成	継続	○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが行う、お試し定住体験事業(神馬)、移住定住空き家運営業務(西郷地区へのUJiターンの受け入れ)を支援した。	860	500	達成	継続	河原町神馬の空き家を借り上げ、(一社)西郷工芸の郷あまじやくに移住定住空き家運営業務を委託しお試し住宅を開設、西郷地区へのUJiターンの受け入れ体制を強化した。	○おためし住宅の利用率の向上を図る必要がある。	市民生活部地域振興課 河原町総合支所	
		民間企業等参入による新たな宅地造成と分譲による定住促進 【工業の振興】	民間事業者への呼びかけと支援策の検討及び法手続き等の開始	宅地造成の開始と完成地からの分譲開始	宅地造成完了と分譲完了	○H29.4月いなか西郷工芸の郷の郷開きを行い、福岡県から河原町湯谷へ新進気鋭の若手陶芸家が夫婦で移住され、日夜研鑽に励んでいる。 H28年度:陶芸窯、作業場への整備に対する支援を行った。 H29年度:研修に要する経費の支援を行った。 ○いなか西郷工芸の郷を内外にアピールし、機運を盛り上げるため西郷地区工芸祭りが実施された。 ○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが、西郷地区に若手工芸家等を誘致し、活動の拠点とするため、北村にシェアハウス、本館にゲストハウスを設置への支援を行った。	○有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保に向けて支援する。	○町内での宅地造成等の動向を情報収集した。布袋、袋河原地内での宅地造成等の動きがあるようだが、引き続き動向を注視する。	1,200	1,200	達成	継続	○西郷地区工芸祭りを支援した。(平成31年10月26日、27日開催、来場者数2,366人) ○(一社)西郷工芸の郷あまじやくに委託している北村シェアハウス、本館のゲストハウスの運営等を支援する。 ○西郷地区の活性化のため、地域おこし協力隊員1名を2月1日から採用した。	799	532	達成	継続	○H29.4月いなか西郷工芸の郷の郷開きを行った。 H28年度:陶芸窯、作業場への整備に対する支援を行った。 H29.30年度:研修に要する経費の支援を行った。 ○いなか西郷工芸の郷を内外にアピールし、機運を盛り上げるため西郷地区工芸祭りが実施された。(H28年度からR1年度にかけて4回開催) ○(一社)西郷工芸の郷あまじやくが、西郷地区に若手工芸家等を誘致し、活動の拠点とするため、北村にシェアハウス、本館にゲストハウスを設置への支援を行った。 ○西郷地区の活性化のため、地域おこし協力隊員1名をR1に採用した。	○引き続き、有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保に向けて支援する。	政策企画課 市民生活部地域振興課 河原町総合支所	
					○民間事業者への呼びかけと支援策を検討した。(検討概要) ○申請事務手続きの簡素化、受付ワンストップサービスの新設等					未達	継続	○宅地造成等動向の情報収集に努めた。 現在、袋河原地内(旧牛舎)において、開発行為により12区画の整備工事中。 また、トスク河原店共同住宅新築 延面積310.92㎡(6戸)			達成	継続	○民間による宅地造成が実施された。	○引き続き動向を注視する。	河原町総合支所		

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				令和元年度				中期(～R元年度)における総括		備考	担当課		
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性			成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性
			～29年度	～31年度	～35年度																
④子育て・教育環境の充実	1. 学校施設の耐震化、生涯学習施設(中央公民館、地区公民館)の耐震化	各種教育・生涯学習・体育施設の耐震改修と整備及び中央公民館・体育施設等の効率的且つ効果的な管理体制を図る 【地域防災力の充実】	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修 ○八上地区公民館耐震改修、西郷地区公民館整備 ○町内体育施設の計画的整備 ○中央公民館のあり方検討	○体育施設の計画的整備及び管理方法の見直しと一部実施 ○河原町コミュニティセンターのあり方について決定	○河原町コミュニティセンター・体育施設等の計画的整備の完了と効率的且つ効果的な管理体制への移行	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修整備が完了した。 ○八上地区公民館耐震改修が完了した。 ○西郷地区公民館新築整備が完了した。 ○平成30年度からの総合体育館、勤労者体育館の指定管理移行に向けた諸手続きを実施した。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を進める。	○河原町総合体育館及び勤労者体育館を指定管理とした。(河原・佐治地域連絡協議会) ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を行った。 ○(仮称)山手総合運動場(野球場・グラウンドゴルフ場)を整備した。 ○(仮称)クリーンセンターやず跡地新運動場の整備に係る埋蔵文化財の予備調査、測量設計を行った。	-	-	未達	継続	○河原市民プールの指定管理移行に向けた検討を行った。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を行った。 ○(仮称)クリーンセンターやず跡地新運動場を整備に係る実施・測量設計、用地買収、埋蔵文化財の本調査を行った。 ○屋内運動場と防災備蓄倉庫を兼ね備えた国英地区活性化施設(仮称)の整備に係る実施設計を行った。	21,768	17,819	未達	継続	○体育施設の一部(総合体育館、勤労者体育館)を指定管理とした。 ○河原町コミュニティセンターの耐震整備等について、継続的な関係協議の場を持つことができた。 ○旧可燃物処理場跡地新運動場を整備に係る実施・測量設計、用地買収、埋蔵文化財の本調査が実施された。 ○屋内運動場と防災備蓄倉庫を兼ね備えた国英地区活性化施設(仮称)の整備に係る実施設計を行った。	○河原市民プールの施設修繕、指定管理移行など、今後のあり方について方向性の検討の必要がある。 ○コミュニティセンターについては、具体的な施設規模等を検討し、施設整備の実施に向け取り組む必要がある。 ○旧可燃物処理場跡地新運動場整備については、関係課等(企業立地支援課、開発公社)との協議により、施設施工状況を注視していき、維持管理の方向性を整理する必要がある。	平成28年度(予算)西郷地区公整備費 184,602千円(一部平成29年度執行のため、債務負担行為あり。)	企業立地支援課 生涯学習・スポーツ課 河原町総合支所	
	3. 地域住民と小・中学校生徒及びPTAと連携した「河原町未来を語る会」の継続	「河原町未来を語る会」への参加者数の増と小中学生による実証 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○園児・保護者、PTAを含めた「河原町未来を語る会」の実施と小中学生の提言等を各まちづくり協議会と共有し、各地域づくりの推進に向け検討する	○小中学生の提言に対する。地域住民・行政・教育等での実施検討と実証(河原町地域の宝マップ作成等)	○小中学生による地域振興の実施(実証)	○児童生徒・保護者、PTA、市民を含めた「河原町未来を語る会」が毎年実施され、各小中学校の代表が具体的な提案・プレゼン、地域の方とのディスカッションを行った。	○小中学生の提言を各地域まちづくり協議会と共有し、実践に向けて検討し実証する。	○児童生徒・保護者、PTA、市民を含めた「河原町未来を語る会」を実施した。(平成30年8月18日開催)	-	-	未達	継続	○「河原町未来を語る会」を児童生徒の実践発表と意見交換を中心として河原中学校で実施した。(11月26日(火)開催)	-	-	達成	継続	○「河原町未来を語る会」として地域の児童生徒及び住民による意見交換による事業の実施などが進められている。	○郷土愛を持った子どもたちの成長につなげていくため、地域とかかわり、より身近な実践と評価を行っていく取り組みとなるよう進めていく。		河原町総合支所
	4. 河原町文化祭などの文化活動の推進	河原町文化祭への出展作品数・来場者数の増 【生涯学習の推進】	○出展作品数・入場者数増への取り組み検討・実施	○出展作品数・入場者数増に向けた取り組み強化	○出展作品数・入場者数増	○前年度の実績、アンケート、反省会を踏まえ出展作品数・入場者数の増を実行委員会で検討した結果、年々、出展作品数、来場者が微増した。 ○平成29年度は第40回を記念して講演会を実施した。	○文化祭を継続して実施する。 ○出展作品数・入場者数増に向けた新たな試みを検討する。	○文化祭を継続実施し、出展作品数は増加したが、来場者数は減となった。(平成30年10月26日～28日開催)	491	491	達成	継続	○文化祭を実施し、出展作品数、来場者数とも増となった。(12月6日～8日、来場者数延2,000人)	491	491	達成	継続	○アンケート結果や反省会の結果を踏まえて実行委員会で協議のうえ、改善や対策を実施し、順調に事業を実施できている。出展作品のレベルも年々上がってきている。 ○元年度は文化祭と人権ふれあい文化祭を合同日程で12月に河原町文化祭として実施し、作品展示も一括して行った。	○元年度は文化祭と人権ふれあい文化祭を合同日程で12月に河原町文化祭として実施し、作品展示も一括して行った。		河原町総合支所

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度					令和元年度					中期(～R元年度)における総括		備考	担当課
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性		
			～29年度	～31年度	～35年度																
⑤観光振興に伴う交流人口の増	1. 河原城・湯谷荘・三滝荘への来訪者の増を目指す。 2. ジオパークエリアにある霊石山また八上姫を祀る売沼神社の知名度アップとこれらを活用した地域活性化の促進 3. 年間約150万人が訪れる「道の駅 清流 茶屋 かわはら」を活用し、河原町の情報発信と新たな特産品等の創出販売促進	①河原城への入館者増 ②湯谷荘の利用者増 ③三滝林間施設への入込客増 【滞在型観光の推進】	○各施設の利用実態調査実施・分析 ○魅力創出とPRの推進(SNS等多様な情報発信による知名度アップ) ○道の駅かわはらネットワーク協議会の再構築	○旅行者への売り込み ○各施設の年間利用者数の増に向けた情報発信強化	○各施設の年間利用者数の増	○各施設の利用実態調査実施・分析中 ○三滝林間施設はH31年度から新たな管理者を募集することとしており、地元を始め関係機関と検討を開始した。 ○河原町独自の観光パンフレット(3施設周遊案内特集版)を作成	○各施設の利用実態調査実施し分析する。 ○道の駅かわはらネットワーク協議会の再構築を図る。	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討する。 ○各施設が行う事業等を支援した。 ○三滝林間施設のH31年度からの管理者募集について地元を始め関係機関と検討した。	1,420	1420	達成	継続	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討する。 ○各施設が行う事業等を支援する。 ○三滝林間施設の在り方について地元を始め関係機関と検討した。	1,412	1225	達成	継続	③三滝林間施設の今後の在り方検討。	林間施設の指定管理者を含めたあり方検討。		林務水産課 河原町総合支所
		①グリーンツーリズムの推進(民泊受入者の増) ②むらとまち交流の増 【滞在型観光の推進】	○新たな民泊及びむらとまち交流等の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出 ○道の駅を活用した新たな情報発信検討	○民泊開設・交流の増 ○新たな体験メニューの創出	○団体受入可能なグリーンツーリズム(民泊等)組織の確立 ○多様な体験メニュー(ツーリズム)の運用 ○むらとまち交流の増	○国英地区と岩倉地区のむらとまち交流事業が継続して実施された。 ○八上地区と丹波篠山市、姫路市との交流が行われた。 ○西郷地区と立地地区との交流が行われた。また、新たな民泊事業に向けて検討を開始された。	○むらとまち交流事業を継続する。 ○西郷むらづくり協議会やどかり部による民泊事業の取り組みを支援する。	○各地区まちづくり協議会のむらとまち交流事業を支援した。(八上輝きの里づくり協議会、平成30年10月13日、平成31年2月2日兵庫県徳山市八上校区協議会と交流) ○西郷地区むらづくり協議会やどかり部による民泊事業を支援した。	-	-	達成	継続	○各地区まちづくり協議会のむらとまち交流事業を支援した。(国英地区と岩倉地区の交流事業が継続して実施された。(4月28日)・八上輝きの里づくり協議会と丹波篠山市八上校区の交流事業が継続して実施された。(11月9日) ○西郷地区むらづくり協議会やどかり部による民泊事業が実施された。	-	-	達成	継続	○各地区まちづくり協議会のむらとまち交流事業を支援した。(国英地区と岩倉地区、八上輝きの里づくり協議会と丹波篠山市八上校区) ○西郷地区むらづくり協議会やどかり部による修学旅行の受け入れ等民泊事業が実施された。	○交流事業の継続及び新たな交流事業の増加 ○民泊の新たな受け入れ先の拡大及び受け入れ組織の確立		市民生活部地域振興課 河原町総合支所
		①河原町の各種観光情報発信の充実強化(道の駅活用) ②新たな特産品の創出と販売 【滞在型観光の推進】	○地域おこし協力隊設置による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出 ○道の駅を活用した新たな情報発信検討	○多様なSNSを活用した連携情報発信の構築 ○新たな特産品の販売	○道の駅を活用した「河原町観光情報発信」の充実 ○新たな特産品等の販売増	○地域おこし協力隊(エコツーリズム担当)による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出を行った。	○かわはら道の駅等を活用した河原町の各種観光情報の発信を充実強化する。	○かわはら道の駅が主体となりイベントを企画し、SNSで発信した。	-	-	達成	継続	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化した。	-	-	達成	継続	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化した。	○かわはら道の駅等を活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化する。		河原町総合支所
		あゆ祭りの情報発信強化等により因幡の夏イベントとして定着(2万人以上の来場者維持) 【滞在型観光の推進】	○あゆ祭りの情報発信強化(知名度アップ等)に向けての検討	○あゆ祭り情報の多様な発信	○とっとり因幡の夏イベントとして定着	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、会場のレイアウトを変更し、来場者がより一層祭を楽しめるようにしたことなどにより来場者が過去最高の25,000人となった。	○平成30年度は第40回の記念大会であり、例年以上のより多彩で充実した催しを実施する。 ○ポスターチラシに留まらない多様な情報発信を検討する。	○第40回の記念大会として開催予定だったが7月豪雨災害によりイベント会場が被災したため急遽中止となった。	4,926	1,574	未達	継続	○第40回の記念大会として8月3日に実施した。当日は、25,000人來場者があり、4,000発の花火が真夏の夜空を彩った。	5,145	5145	達成	継続	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、企画内容を見直すなどにより来場者も増加している。	○ポスターチラシに留まらない多様な情報発信を検討する。		河原町総合支所
		ジオパークエリア霊石山の観光資源の再発掘、整備、活用をして魅力を向上し、来訪者の増を目指す 【滞在型観光の推進】	○国英地区と協同して霊石山(関係含む)のデータ収集と利活用の検討 ○山頂へのアクセス道整備	○埋もれている地域資源の再整備と利活用を完了 ○ジオガイドの養成 ○ウォーキングマップ作成	○観光資源等の整備完了 ○霊石山への来訪者増	○「国英地域の宝を発見し活かす」をテーマとしてとっとりふるさと元氣塾(約30名が入塾)を国英地区公民館で開催するなど、霊石山の魅力や活用の仕方などを国英地区と協働で検討した。 ○霊石山山頂に山陰海岸ジオサイト案内看板を設置した。 ○山頂へのアクセス道については応急的な整備を実施した。 ○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会により伊勢ヶ嶋の整備を行った。 ○かわはら道の駅や河原城の主催でトレッキングなど霊石山を活用した事業を行った。	○国英地区との連携により霊石山の活用や魅力の発信などを実施できるようなプランをつくる。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備を継続する。 ○山頂へのアクセス道を整備した。 ○ジオガイドを養成した。 ○ウォーキングマップを作成した。	○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会による霊石山の整備を継続して実施された。 ○道の駅河原や河原城主催によるトレッキングや散歩会など、霊石山を活用した事業が行われた。	33,500	26,515	達成	継続	○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会による霊石山の整備を継続して実施された。 ○道の駅河原や河原城主催によるトレッキングや散歩会など、霊石山を活用した事業が行われた。	-	-	達成	継続	○霊石山をまちづくりに活用することを目的とした事業を実施した。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備を継続して実施した。 ○山頂へのアクセス道を整備した。 ○ジオガイドを養成した。 ○ウォーキングマップを作成した。	○国英地区との連携により霊石山の活用や魅力の発信などを実施できるようなプランをつくる。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備を継続する。 ○山頂へのアクセス道を整備する。		林務水産課 河原町総合支所
売沼神社等への来訪者の増 【滞在型観光の推進】	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析並びに各関係者と利活用の検討	○観光ガイドの養成	○観光ガイドの創出 ○来訪者の増	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析並びに利活用について、鳥取市南商工会との連携を検討し河原地域をはじめ鳥取南部地域の食材や観光施設を活かした観光商品化を検討するための様々なモニターツアーを鳥取南商工会が中心となって行った。	○鳥取南商工会を中心としたモニターツアーだけに留まらず継続して来訪者が訪れるような仕掛けづくり、PRを検討する。	○鳥取南商工会が中心となり八上姫、売沼神社にちなんだ商品の開発、販売を行った。 ○観光ガイドを養成した。	-	-	達成	継続	○河原地域をはじめ鳥取南部地域の魅力の発信と資源を活用した鳥取南商工会を中心とした取組みが行われた。	-	-	達成	継続	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析並びに利活用について、鳥取市南商工会との連携を検討し河原地域をはじめ鳥取南部地域の食材や観光施設を活かした観光商品化を検討するための様々なモニターツアーを鳥取南商工会が中心となって行った。	○モニターツアーに留まらず継続して来訪者が訪れるような仕掛けづくり、PRを検討する。		河原町総合支所		